

◎ 米沢市立愛宕小学校

地域とともに、「ん～まい あたご」

児童数266人の中規模校である本校は、西側に自然の宝庫なでら山とその麓に広がる田園、東側には新興住宅地や大型店を配し、生活や学習の環境の整った地域です。地域の人たちの学校に対する関心も高く、様々な協力をいただいています。その一例として、「ん～まい あたご」と名付けた愛宕小自慢の「食育」について紹介します。

今年結成11年を迎える「愛宕食と農を考える会」は、農家の主婦のみなさんを中心に構成されています。綿密な計画のもとに収穫した新鮮な野菜を届けてくださり、子どもたちは地産地消のおいしい給食を食べることができます。



「食と農」の方々に手伝ってもらい収穫祭

子どもたちは地産地消のおいしい給食を食べることができます。



地産地消の
おいしい給食

愛宕地区には「雪菜」という伝統野菜があり、3・4年生はこの「雪菜」を育てています。8月末の種まきから、11月の床寄せ、1m以上も雪が降り積もる2月の収穫まで、栽培にはとても手間がかかります。雪の中から掘り出し、冷水で念入りに洗い、その日のうちに名産の「ふすべ漬け」などに調理します。この栽培や調理の指導も「食と農」の方々のご協力をいただいています。

5年生では米作りの体験学習をし、12月にはコメの生育調査の発表会も含めて、餅つきなどの収穫祭を行います。この収穫祭でも「食と農」の方々が大活躍です。

食育は「いのちの教育」。これからも地域の人たちとともに子ども達に大切なものを伝え続けていきたいと思っています。



雪の中から
雪菜を収穫

◎ 遊佐町立遊佐中学校

地域素材を活用した特色ある体験学習

本校は、遊佐町唯一の中学校として平成5年に開校し、昨年創立20周年を祝いました。雄大な鳥海山を背景にした建物の豪華さやグラウンドなど校舎周辺の教育環境は正に日本一。

澄川喜一氏作のモニュメント「TO THE SKY」も見応えがあります。遊佐町に足をお運びいただき是非ご覧下さい。

開校以来、多くの関係機関の協力を得ながら実施してきた特色ある体験学習を紹介します。



澄川喜一氏作モニュメント

海岸清掃(1年生 6月)

遊佐町環境推進委員の協力のもと、遊佐高生、西遊佐小児童と一緒に縦割り班編制で行います。2泊3日の宿泊研修の1コマになっています。



海岸清掃

砂防林整備(3年生 10月)

遊佐町役場や庄内総合支庁を始め森林管理署等各団体から50人以上の指導員を派遣していただき、カマやノコギリで下刈りや枝打ち等の整備をします。



砂防林整備

職場体験(2年生 10月)

町内40ヶ所以上の事業所の協力を得て、3日間実施します。時には厳しく指導していただき、働く楽しさと大変さを実感します。



職場体験

ころもち運動(生徒会活動 12月)

町内4ヶ所の施設に、全校生徒のメッセージと共に、各家庭から持ち寄った餅をプレゼントします。「小さな親切実行章」として表彰された伝統ある行事です。

他にも「社会貢献」を意識した生徒会活動が積極的に展開され、遊佐町の湧水のように純粋で「心豊かな生徒」に育っていきます。



ころもち運動